



やまなみ

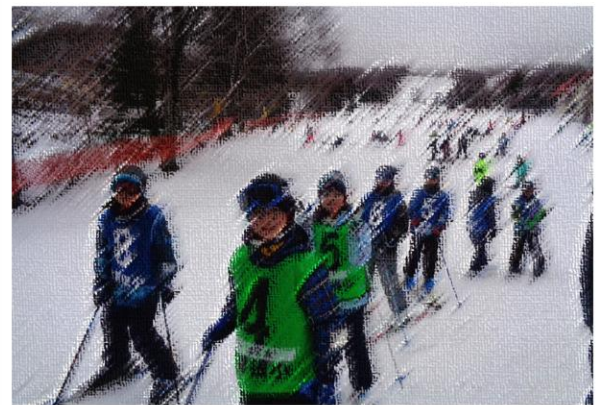
山形市立大曾根小学校
学校だより
令和6年2月22日
校長
土井 正路

No.15

山形においては本格的な雪景色となる時期ですが、まるで春が来たかのような天気が続いています。2月21日には久しぶりの雪でしたが・・・

白銀の中で ～スキー教室・雪上教室～

1月18日(木)に3～6年生がスキー教室に出かけました。雨が心配された朝でしたが、蔵王温泉スキー場はガスがかかっているものの降雪はなく、予定通りの活動ができました。6年生にとっては最後のスキー教室でしたね。大人になってもスキーを楽しむことができると良いですね。



「すべっているうちにだんだん慣れてくることができた。たくさん転んでしまったけど、あきらめずたくさんすべれた」
4年 金子 恵乃

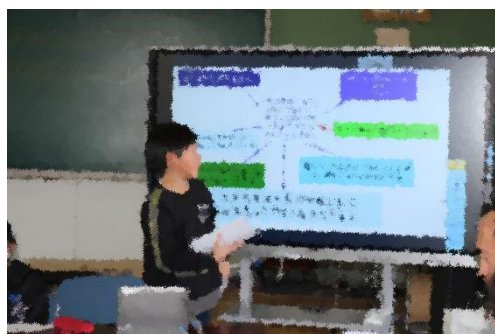
1月26日(金)は1, 2年生が自然の家に雪上教室に出かけました。雪が降らない日が続き、そり・チューブ滑りができるかなと心配したのですが、まったく問題にならないくらいの積雪がありました。春・秋に続き、3回目の自然の家でしたが、雪があるとまったくの別世界。かまくらを作ったり、秘密基地を作ったり、ふかふかの雪の上にダイビングをしたりと思い思いの遊び方で雪となかよしになりました。



かまくらをつくったのが楽しかったです。さいしょはどう作るか、なやんだけど、「さいしょにあなをあげるとくずれちゃうから」とアドバイスをもらって、さいごは目としっぽをつけたらかわいくなってうれしかったです。
2年 市川 依茉

学校×地域の協働を目指して～第3回学校運営協議会～

2月7日(水)、第3回学校運営協議会を開催しました。今年度の学校経営について、学校評価の結果をもとに今年度の学校運営について評価していただくとともに、経営の重点とした教育活動の具体的な取り組みについて成果と課題を協議いただきました。成果としては、地域学校協働活動の充実とICTを効果的に活用した学習活動があげられました。その1つとして協議会の中で、4～6年生の代表が「大曾根地区をより魅力的な町にするには」というテーマで考えたことを委員の皆様へプレゼンする機会を設けました。委員



の方々からは、「子どもたちが大曾根のことを好きでいることや地区についてよく調べていることが嬉しい。」「子どもの豊かな発想を地区のみんなにも聞いてもらいたい」等、好意的な感想をいただきました。今後も、子どもたちが大曾根に誇りをもち、地域の一員として、地区の方々と対話する機会を設けていきたいと考えます。

課題としては、読書量を増やすための方策、学校施設の整備(例えば、グラウンドの除草および整地、分担が行き届かない清掃場所等)があげられました。

想いを託して 児童会引継式

2月20日(火)、児童会引継式がありました。これまで児童会を引っ張ってくれたげんき学年(6年生)からあおぞら学年(5年生)にバトンがわたります。ドリームスクール委員長の高橋楓芽さんからは「みんなが楽しく、学校生活が送れるよう、挑戦と協力をキーワードに頑張ってきたこと」、ブック&アナウンス委員長の秋葉花南さんからは「本好きな人がふえるよう、本紹介や借りる人が増える工夫をしてきたこと」、元気100%委員会の齋藤弘太郎さんからは「みんなが健康な体になれるよう、さまざまな行事を計画し実施してきたこと」について話してくれました。来年度からは3つの委員会が2つに統合されます。それぞれの委員会が大曾根小を良くしたいという想いは変わりません。ドリスク新委員長の星野晴凧さんからは「話し合いの進め方を頑張りたい」、元気100%新委員長の鈴木柚葉さんからは「元気のでるイベントをやってみたい。そして、困っている人に優しくしたい」という抱負を話してくれました。がんばれ、大曾根っ子！



支え合う、ココロ未来へ

児童会のドリームスクール委員会の皆さんが中心となって、赤い羽根共同募金に協力することを呼びかけてくれました。特に今年度は元日に発生した能登半島地震で被害にあった方々のためもあってか、たくさんの善意の寄付金が集まりました。2月2日、市社会福祉協議会の方に来校いただき全額をお渡しすることができました。困っている人に役立てていただくのはもちろんですが、地震によって、今も苦しんでいる方々にも、私たちの思いが届くと良いですね。募金額は28,945円でした。保護者の皆様もご協力ありがとうございました。

